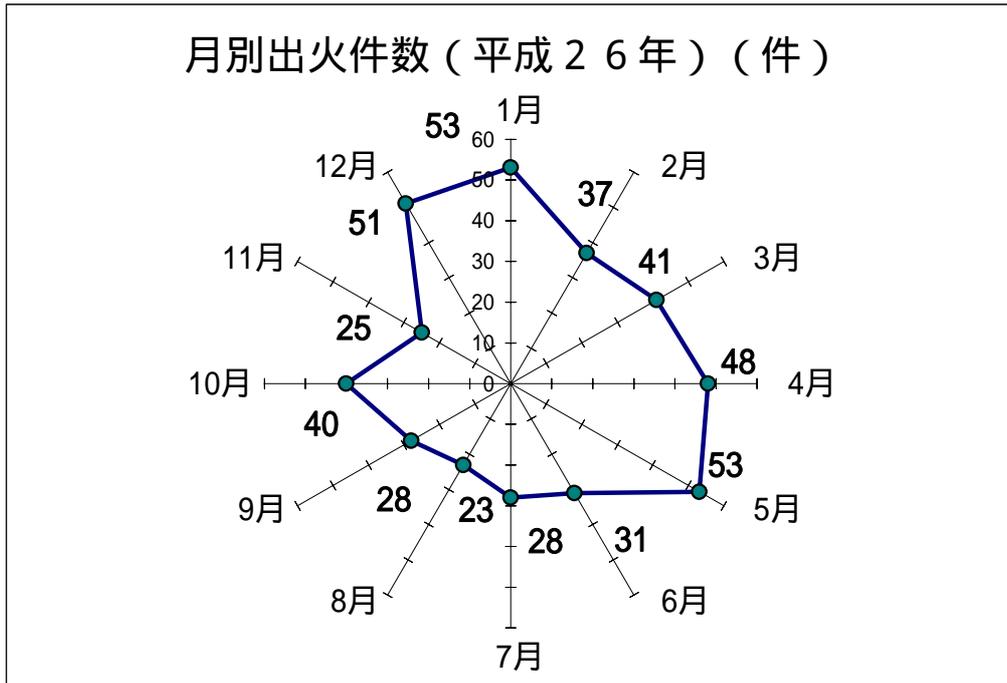


火災発生の概況



1 出火件数について

平成26年中の長崎県内における火災は、火災総数458件、損害額830,555千円、火災における死者数15名、負傷者数83名、罹災世帯数231世帯、罹災人員517名でした。

これを、前年と比較してみると、出火件数では122件減少し、死者数では前年より7名減少、損害額では83,128千円の増加となっています。

火災種別の内訳をみると、建物火災が245件で全火災の53.5%、次いで車両火災が41件(9.0%)、林野火災が20件(4.4%)、船舶火災8件(1.7%)、航空火災は0件となっており、その他の火災が144件(31.4%)でした。

2 火災による死者の状況

火災による死者は15名で、前年より7名減少、負傷者は83名で前年より8名の増加となっています。

3 出火原因

出火原因では、第1位は「たき火」(79件)、第2位は「たばこ」(41件)、第3位は「コンロ」(36件)、第4位は「放火(放火の疑い含む)」(35件)、第5位は「火入れ」(24件)となっており、これらで全体の46.9%を占めています。

(県消防保安室)